

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

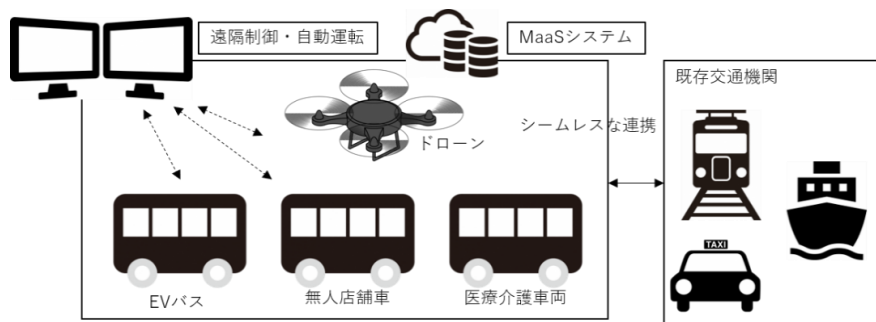
1. 自動運転車両(EV):バス、無人販売店舗車両
2. 車両遠隔監視・運行システム
3. MaaSシステム:複数交通システムの連携
4. ドローン:遠隔監視・撮影用、物流・物資運搬用
5. 防災用センサー
6. 防災関連情報集約システム(平成新山、眉山監視データの集約含む)
7. ビッグデータ解析技術:交通網制御用途、災害予測用途
8. 災害時避難行動要支援者や被災者を総合的に管理するシステム

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

1. 無人自動運転交通網による安心・安全で利便性の高いモビリティサービスの提供

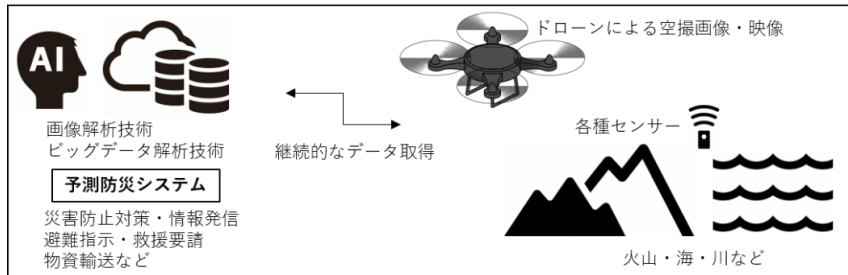
自動運転及び遠隔制御技術を搭載した車両による交通網を構築し、定期運行バス、無人販売車、医療・介護サービス車等を運行させることにより、山間部等の移動が不便な地域に至るまで、安心・安全な生活サービスを低コストで提供する。

- ① 高齢者・障がい者も安心・安全に移動できる無人運転バスの運行
- ② 買い物難民を作らない無人販売店舗車の運行
- ③ 医療・介護施設・薬局などを循環する車の運行
- ④ MaaSシステムによる既存の交通システム(鉄道、船舶、カーシェアリング、タクシー等)とのスムーズな連携



2. センサー・ドローン・ビッグデータを活用した予測防災システムの高度化

- ① ドローンによる空撮画像を継続的に撮影し、解析するシステムの導入
- ② 水位や地熱など災害予測に役立つ情報を収集するセンサーを設置し、継続的に監視、解析するシステムの導入
- ③ ビッグデータ分析による災害予測と広報・救援活動等の最適化・高度化
- ④ 物資輸送、防災情報・避難情報の広報のための災害時にも自立飛行が可能なドローン、自動運転車両の導入



(5) その他

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
島原市市長公室島原ふるさと創生本部企業立地推進室	主事 木村 彰太郎	0957-62-8012	kimura@city.shimabara.lg.jp